

▽校務支援システムの活用による学校の働き方改革の推進

教職員の長時間勤務への改善策の一つとして、赤平市立学校における業務改善計画に基づき、校務支援システムを活用しています。
学校内における児童生徒の個人ファイル共有、学校間や関係機関との連絡、教職員の出勤管理などに活用している校務支援システムが、教員の超過勤務の縮減に早く結びつくよう、教え合う体制づくりおよび外部講師による研修を整え、教員が本来担うべき業務に専念できる環境整備の一つとして、有効活用を進めます。

4 信頼される学校づくりと地域連携の充実

▽コミュニティ・スクールの推進
本市のコミュニティ・スクールは、全市の規模で、学校と保護者や地域の代表の皆さまが共に知恵を出し合い、意見を反映させることで、子どもたちの豊かな成長を支える仕組みと なっています。

小学校1校、中学校1校と なったことで、コミュニティ・スクールにおいて、各学校の成果と課題がより明確に把握されるようになりました。

各学校の教育活動を評価することで地域の声を積極的に生かし、地域と一体となり特色ある学校づくりを進めます。
▽部活動の地域移行への推進
文部科学省は、部活動の在り方に関する総合的なガイドラインを策定し、部活動を学校単位から地域単位の取り組みとするとの考えを提示しました。本市といたしましても、望ましい部活動の地域移行について、ガイドラインを基に関係機関と連携を図りながら、調査・研究を進めます。



社会教育の推進

ともに学び合い 豊かな心を育む 社会教育の推進

▽青少年教育
青少年が豊かな人間性を育み、心身ともに穏やかに成長させるために青少年健全育成事業を実施します。
その中で、集団活動を通じた仲間づくりと青少年リーダー育成を目的のために実施しています。「ふるさと少年教室」を引き続き行ないます。

また、青少年を取り巻く社会・生活環境が大きく変化していることから、子供たちを非行やいじめ、不登校、児童虐待などのさまざまな問題から守るため、青少年センターが行なっています登下校時のパトロールを継続していくとともに、学校や警察などの関係機関との情報共有と連携を密にし、問題が発生した際に迅速な対応ができるように努めます。

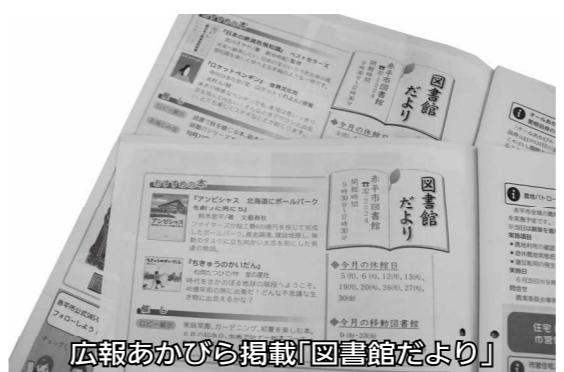


東公民館講座

▽公民館活動

東公民館・交流センターみらいにつきましては、各種講座や教室、サークル活動などを通じて、学びあい、教えあい、交流を深める場として、幅広い年齢層の方々に利用されています。

▽図書館と読書活動
市民に親しまれる図書館を目指し、令和5年度においても、幼児に絵本を渡す「ブックスタート事業」、家族みんなで



広報あかびら掲載「図書館だより」

好きな本を読んで読んだ本について話す家読「うちで」）、除籍本を無償で提供する「古本フェスタ」、文京生活館や小学校へ図書館の蔵書の一部を持ち運ぶ「移動図書館」などを、幅広い年齢層に対する事業を継続します。
また、広報の図書館だより に毎月のおすすめ図書に掲載し、ホームページにも新着図書や貸し出しと予約のランキングなどを掲載しながら、図書館の蔵書に係る情報提供を行ないます。
今後も市民のための図書館づくりを目指し、利用者サービスに努めます。

▽芸術・文化活動

文化協会をはじめとする文化団体の活動の支援に努めながら、連携を図ります。
また、文化協会を中心とした各種サークルや同好会により、毎年、市民総合文化祭をはじめ、発表会や展示会、研修会など、自主的な芸術・文化活動が行なわれています。これからも発表機会の確保と鑑賞および体験できる事業の支援を行ないます。
芸術・文化鑑賞機会の充実に つきましては、今年度、音楽鑑賞会を実施して芸術・文化に触れてもらう機会を設けることにより、芸術・文化に対する関心の拡充につなげます。



市民総合文化祭

▽文化財保護

文化財は、歴史や文化などの正しい理解のために欠くことのできないものでありますので、引き続き歴史資料の収集保存に努め、文化財を後世に伝えていくために保護し、地域の郷土史を学習する機会の提供に努めます。



炭鉱遺産ガイダンス施設

▽体育・スポーツ

市民の皆様がスポーツを通して、健康で豊かなライフスタイルを築く生涯スポーツ社会の実現を目指すため、健康づくり、体力づくりをはじめ、年齢、体力、技術に応じた多様なスポーツや、レクリエーション活動を支援します。
また、スポーツ活動は、市民の皆さまが心身ともに健康で楽しく充実した生活を送るために大きな役割を担っており、



市長杯争奪ミニバレー大会

生涯にわたって親しまれることから、市民の皆さまが気軽に楽しんで参加できる体力づくりやスポーツの各種大会などを行ないます。
各スポーツ施設につきましては、安全で快適な利用環境を整えるため、施設の適切な維持管理に取り組みます。
今後市民の体力の向上および健康増進などにつながるよう、北翔大学やスポーツ協会、スポーツ推進委員、各スポーツ団体などとの連携・協力により、スポーツに触れ合う機会の拡充に努めます。



北翔大学連携事業 走り方教室

▽地域学校協働本部

地域学校協働本部につきましては、社会教育委員が構成メンバーとなつて活動を行なっているところです。
主な活動としましては、学校の要請に基づく地域人材による講師派遣など、学校支援活動や赤平小学校の施設内で行なわれています放課後子供教室において、地域人材の活用などにより、走り方教室や軽スポーツ体験、読み聞かせ、歴史学習、卓球教室などを実施しているところです。
今後地域学校協働本部を中心に学校と地域をつなぎ、連携を図りながら活動を行なうことにより、子どもたちが心

豊かで穏やかに育まれていくよう、活動を行ないます。

以上、令和5年度の赤平市教育行政執行方針を申し述べました。

令和2年度から4年度まで、本市の学校教育社会教育を取り巻く状況は、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校におけるさまざまな教育活動の制限や社会教育施設の利用制限を余儀なくされてきましたが、今年度からは通常時にもどろりつつあると認識しております。

今後市長部局と連携を図りながら、少子化・人口減少対策などのさまざまな施策を実施し、また、公教育としての水準を維持・向上させるとともに、地域住民による生涯学習活動を通して社会的なつながりを増す良き地域づくりの好循環を期待し、本市の教育振興のため、一層の充実に努めてまいりますので、議会をはじめ、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

赤平市教育委員会教育長 高橋雅明